

# ～ 浜松・磐田コース ～

浜松宿（浜松駅）から見付の宿（磐田駅）へ、旧東海道の名所・旧跡を巡りました。

曇天ながら風もなく、歩けば汗ばむような陽気のなか、参加者は当会ガイドによる史跡の説明に、耳を傾け、時には質問し、足も口も軽やかに、一路東へ。玄孫となる山口さんに案内された「金原明善の生家」、昔の名物を再現した「はりつけ餅」の試食、交通の要衝として栄え多くの史跡を残す「中の町界限」など、往時の歴史と文化を偲ぶ16kmの旅でした。

参加者からは、「歩くだけでなく勉強になった」「地元にも知らない事もあった」「はりつけ餅が美味しかった」などの声がありました。

1. 実施日 平成23年11月5日（土）
2. 参加人員 30名
3. 距離 約16km
4. コース さんさくマップ「見付・浜松」（のうち、「浜松駅・磐田駅」コース）  
浜松駅 → 夢告地藏尊 → 神明の鳥居 → 妙恩寺 → 天竜公民館 → 金原明善の生家 → 中野町界限 → 池田の渡し → 熊野の長藤 → 宮之一色秋葉山常夜燈 → 善導寺の大樟 → 磐田駅

【夢告地藏尊】



【金原明善の生家】

山口さん（明善の玄孫）の説明



【はりつけ餅】  
餡餅を串に刺し醤油をつけて焼いたもの